

雨宮しんごの

✕ @ f o

「読むSNS!!」

✈️

下総地区の自治会で県政タウンミーティング / 5月4日

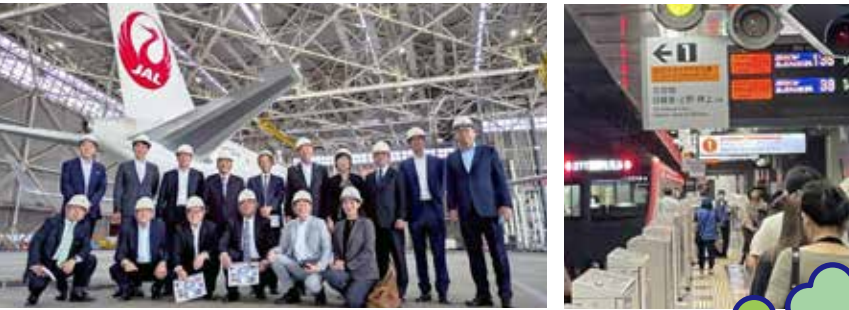
下総地区の役員会にお招きをいただきました。市議時代から長くご縁をいただいている地域で、いつも温かく迎えてくださる皆様に、改めて感謝申し上げます。県政報告の機会もいただいた他、住民の皆さまと**インフラ維持の問題や空き地・空き家の対応**

市内であれば全地域お伺いたします！お気軽にお声がけください！



成田空港視察 / 5月14日

千葉県議団成田空港推進議員連盟で地元成田国際空港の現場を視察しました。第2ターミナル、空港第2ビル駅、ANA貨物ビル、日本航空整備センター、そして第3滑走路整備予定地と空港の今とこれからの支える最前線を直接見て、**関係者から現状や課題**について詳しく伺



第36回全国「みどりの愛護」のつどい / 6月7日

森のホール21（松戸市）で開催された「みどりの愛護」のつどいに来賓として出席しました。**秋篠宮皇嗣同妃両殿下もご臨席のもと**、厳かな雰囲気の中で開催されました。**両殿下のご臨席を仰いだ事で、緑の保全に取り組まれている多くの方が励まされた事**と思います。無私の御心で公務に当たられる殿下の**お姿を拝し、敬仰と感謝の念を新たにしました。**全国から緑を守り育てる活動に取り組む皆様が集い、長年の活動への表彰や記念植樹が行われたのですが、**成田市からは「なりた環境ネット**



千葉県・成田市の最新情報や日々の活動をSNSで積極的に発信しています！是非「雨宮しんご」をフォローください！

プロフィール

- 46歳・2児の父・犬2匹

■ 2023年千葉県議会議員

■ 成田市議選4期連続トップ当選

■ 第41代成田市議会議長

■ 明治大学公共政策大学院修了（修士）

■ 日本サーフィン連盟公認インストラクター
- 環境生活・警察常任委員会 副委員長

■ 郵政議員連盟

■ 成田空港推進議員連盟

■ 北千葉道路建設促進議員連盟

■ 千葉県議会動物愛護議員連盟

■ 鍼灸あん摩マッサージ指圧を考える議員の会

雨宮しんご事務所 〒286-0041 成田市飯田町143-11 TEL:070-3131-0057

千葉の波を世界へ / 6月19日

千葉県旭市・井戸野浜海岸（旧かんぼ下）で開催された**「S.LEAGUE25-26 S.TWO 井戸野浜オープン」**にお招きいただきました。東京オリンピックでは、一宮の釣ヶ崎海岸がサーフィン競技の会場に選ばれ、世界中の注目を集めました。以来、**千葉県では「千葉県（ちばけん）」として、波の魅力**をPRしています。今回の大会には、2025年オリンピック強化選手



千葉の「波」をどう活かすか!? 米本旭市長と意見交換! / 6月23日

井戸野浜海岸で開催されたサーフィン大会を受けて、さっそく旭市を訪問し**日本サーフィン連盟の皆さん、2025年オリンピック強化選手の高橋ゆな選手とともに、**と意見交換を行いました。井戸野浜海岸の持つポテンシャル、そしてサーフィンを活かした街づくりについて、市長と率直に意見交換する貴重な機会でした。世界ですでに3500万人を超えるサーフィン人口が存在し、韓国などアジア諸国からも千葉の海に熱視線が注がれています。県内の海岸線や地域の個性を生かしながら、新た



JAL×フューリックで国際物流拠点「WING NRT」が整備へ! / 7月17日

成田市下福田地区に、航空上屋と物流施設が一体となった**国内初の国際物流拠点「WING NRT」**が整備されることが発表されました。2029年の開業を目指し、JALとヒューリックが共同で運営を担います。この**プロジェクトは、成田空港の第3滑走路整備と連動し、国際貨物のハブ空港としての機能強化に資する極めて重要な取り組み**です。国際競争力を失いつつある我が国の物流機能を、

下福田が変わる。

成田が変わる。

空港を活かし地域に力を。



にも選ばれた高橋ゆな選手も参戦！ハイレベルな戦いが繰り広げられ、観客席も大いに盛り上がっていました！私自身も学生時代からサーフィンに親しみ、趣味が高じてNSA公認インストラクターも取得しました。プレイヤーとしても、県議会議員としても、千葉の「波」を皆さんと一緒に盛り上げてまいります！

な誘客や交流、産業へとつなげていく「千葉県（ちばけん）」を推進する千葉県。成田空港という玄関口を生かし、訪日客や首都圏の方々を県内各地へとつなぐ仕組みづくりは観光立県としても喫緊の課題で、マリンスポーツでの誘客は有効だと思います。これを契機に、地元の高橋県議とも連携しながら、**千葉県の波を生かした地域振興**に取り組んでまいります。

千葉県議会議員
雨宮しんご

雨宮しんご県政報告会
「感謝の集い」

地元成田市の小池正昭 衆議院議員をお迎えし、トークセッションも実施いたしました。



衆議院議員

小池 まさあき



5月31日、「県政報告会・感謝の集い」を開催いたしました。当日はあいにくの雨模様でしたが、選挙カーでの恒例フレーズ「雨が降っても雨宮しんご!」の如く、会場に入りきれないほど多くの皆さまに足を運んでいただき、心より感謝申し上げます。この2年間、県政の現場で取り組んできたこと、そして成田市と千葉県が直面している課題について率直にお話ししました。特に、**成田空港第二の開港プロジェクトや教育、防災・医療体制の強化**といった重点政策について、私の想いや今後の方向性を共有する機会となりました。当日は、農業や空港政策に精通されている成田市選出の小池正昭衆議院議員をお迎えし、トークセッションも実施。**「令和の米騒動」に象徴される農業・食料安全保障の課題**、そして**成田空港の未来**について、**国と県の連携の重要性**を改めて確認する有意義な時間となりました。また、石井準一参議院議員、臼井正一参議院議員、富田茂之前衆議院議員をはじめ、県議会・市議会の先輩や同僚議員の皆さまにもご出席いただき、温かい激励の言葉を頂戴しました。そして、同志である熊谷俊人千葉県知事からは、私のこれまでの活動に対する信頼と期待を込めた力強いメッセージをお寄せいただきました。知事とは昭和53年生まれの同期で、成田空港が開港した年に生まれた縁もあります。しっかりとスクラムを組んで力強く推進してまいります。私からは、ライフワークである**成田空港政策**予備校講師の経験を活かした**教育政策・命を守る「防災・医療体制の強化**などについてお話ししました。内面で詳報しますが、未来を拓く教育の姿、命を守る政策、そして地域と成田空港が共に歩むまちづくり……。地元の声を県政に届け、具体的な政策に落とし込んでいけるよう、引き続き取り組んでまいります。成田空港は、周辺市町の未来への入り口です!「この空港は、自分たちがつくった」と誇れるまちを、次の世代へと繋ぐために、千葉県から拓く成田新時代!の実現に向けて、日々感謝しながら全力で歩んでまいります。



LINE 公式アカウント

公式ホームページ
ama-shin.net



雨宮は 6 月定例県議会にて外国人政策(多文化共生)を、いち早く取り上げていました！

参議院選挙において
主要争点となった

「外国人政策」における 千葉県の取り組み を質す！

成田市の外国人住民は **約 1 万人！** 人口比 7% で **県内 2 位** という現実！

現状

千葉県の外国人住民は約22万人に増加	
成田市	約 1 万人(県内 6 位、人口比 7% で県内 2 位)
実感	1 クラスに 2～3 人の外国籍生徒が在籍する状況
主な在留資格	技術・人文知識・国際業務(3 万人)、家族滞在(2.4 万人)、技能実習(2.2 万人)

このままでは危険！手順を踏んだ受け入れ体制の整備が急務

問題の背景

成田空港の機能強化	育成就労制度の導入	外国人労働者の継続的増加が確実	川口市のクルド人問題のような課題を各地で発生させないためにも、適切な対策が必要です！
-----------	-----------	-----------------	--



雨宮が県に求めた 4 つのポイント！！

1 日本語教育の 実態把握と環境整備

- 令和 3 年「地域日本語教育推進事業プラン」を策定
- 来年度プラン改定に向けて今年度調査を実施
- 市町村、事業者、外国人住民等へアンケート・ヒアリング実施予定



2 高度人材の 戦略的受け入れによる 地域経済活性化

- 企業向けセミナーや留学生向け就職講座を実施
- マッチング支援の合同企業説明会を開催
- 生活環境・教育環境整備の重要性を認識し研究継続

雨宮要望

- 国や県の支援制度、インターナショナルスクールの整備など周辺環境の整備が重要。他県の先進事例も参考にしながら積極的に進めるべき。

3 犯罪対策の強化で 安全・安心な 共生社会を実現

- 昨年末の外国人検挙者数：836 人
- 外国人が被疑者・被害者となる犯罪が増加傾向

県警の対応

- 令和 7 年 4 月、国際捜査課に「外国人総合対策室」を新設！
- 外国人向け防犯指導の実施
- 企業・団体への不法就労・不法滞在防止指導
- 悪質な仲介業者等への厳正な取締り

4 外国人ドライバーの 交通安全対策を強化

深刻化する状況

- 県内外国人免許保有者：令和 2 年 53,289 人→令和 6 年 71,716 人(35% 増加)
- 外国人運転者が第一当事者の事故：令和元年 307 件→令和 6 年 394 件(87 件増加)
- 全交通事故に占める割合：2.0%→3.4% (1.4 ポイント上昇)

県警の対応

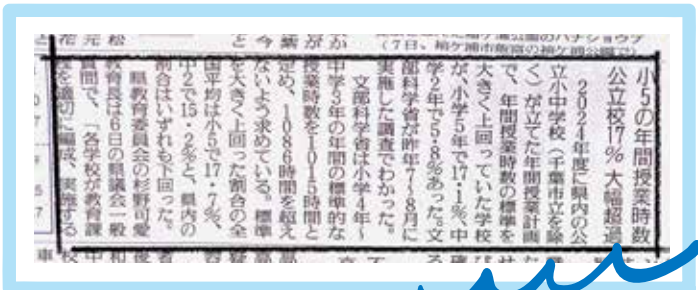
- 外国語リーフレットや動画を活用した交通安全教育
- 日本の交通ルール理解促進のための広報啓発
- 飲酒運転根絶、歩行者保護徹底など総合的な交通事故防止対策を実施

雨宮しんごの「一般質問」

成田空港を入り口に
千葉県から成田の未来を切り拓きます。

読売新聞に取り上げられました！

「小中学校の授業時数、実態を明らかに！」



授業時間の“適正化”が急務！子どもと先生の未来のために。

全国の公立小中学校の約 2 割が、学習指導要領の標準授業時数(例：小 4 以上は年間 1015 時間)を大幅に超える授業を実施していることが、文部科学省の調査で明らかになりました。

国は 1086 時間以上を「過剰」とし、見直しを求めています。

授業数の増加は、教員の負担増や子どもたちの心身への影響につながるおそれがあります。千葉県でも一部の学校で「過剰授業」が明らかになり、平均授業時数は小学校 5 年生で 1055 時間、中学 2 年生で 1032 時間でした。授業の“量”に偏らない教育の見直しを県に強く求めました。県教委は、市町村教委に通知を出し、校長研修や学校訪問を通じて、教育課程の適正化を進めていくとしています。

子どもたちの学びの質を守り、先生方が無理なく働ける学校へ。

現場の声を県政に届け、これからの教育施策に全力で取り組みます。

雨宮しんごは 命を守る政策に全力！！

空港の街に“命の備え”を。成田に「保健所」と「救命救急センター」を！



なぜ今、成田空港に保健所機能が必要か？

世界とつながる成田空港には、感染症対策の最前線となるべき保健所機能がありません。現在は印旛保健所が、成田市を含む 7 市 2 町に加えて空港までをカバーしていますが、これは限界です。空港検疫は国の管轄ですが、99.99%は検疫をスルーし入国しているのが現状です。一步空港に足を踏み入れた時点で、感染症対応は千葉県(印旛保健所)の責任になります。

新型コロナを経た今、いつ新たな感染症が発生してもおかしくない時代。

だからこそ、
「備える政治」を進めなければなりません！

粘り強い取り組みが実を結びだす

県議会で毎回のこの課題を取り上げ、訴え続けてきましたが今年 6 月から新たな動きが始まることになりました！

「千葉県難病助成事務センター」が設置！

印旛保健所の中でも、特に人手のかかる業務である

指定難病医療費助成業務

小児慢性特定疾病医療費助成業務

を県が吸上げる体制が印旛保健所ではじまりました。

申請受付、受給者証の更新・変更、問合せ対応を一元化

現場の負担が軽減され、保健所に余力が生まれます！

この業務効率化により、感染症拡大や災害時の対応力が向上します。

私はこの「余力」を、成田空港での健康危機対応へと結びつけたいと考えています。



「救命救急センター」の設置！

私が進めているのが、成田市への救命救急センターの新設です！

現在、印旛医療圏には日本医科大学千葉北総病院、成田赤十字病院の 2 カ所が救命救急センターとして機能していますが、救急医療の現状は深刻です。



日本医科大学千葉北総病院

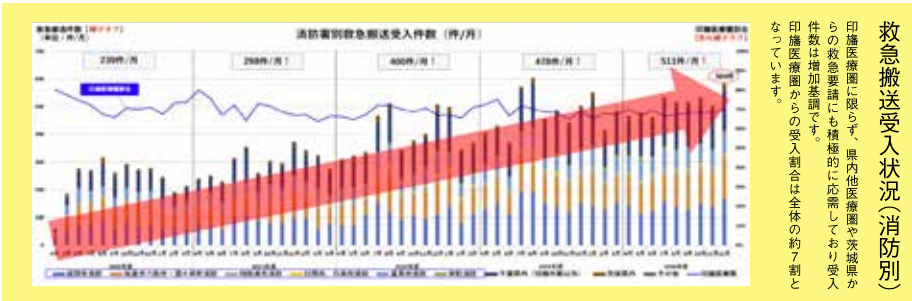


成田赤十字病院

県の答弁で明らかになった医療の課題

救急搬送完結率：85.6% (印旛医療圏)
高齢化：2030 年までに 75 歳以上人口が 43% 増
広域化：成田空港の拡張、圏央道全線開通で拠点性が上昇

県も「高齢者の増加に伴い、救急医療需要は今後さらに高まる」と認めました。雨宮はデータに基づき、印旛医療圏に新たな救命救急センターを指定すべきと強く訴えています。



救急搬送受入状況(消防別)
印旛医療圏に限らず、県内他医療圏や茨城県からの救急搬送にも積極的に応需しており受入件数は増加基調です。
印旛医療圏からの受入割合は全体の約 7 割と高くなっています。

命を守る拠点を、空港とともに

空港とともに発展する成田には、「命を守る拠点」が絶対に必要です！私は知事や国際医療福祉大学と連携し、成田空港エリアに本格的な救命救急センターを整備・指定するために、全力で取り組んでいます。また、保健所体制の改善も着実に進めており、将来的には空港への保健所機能の強化をめざします。印旛医療圏における救命救急センターの新設指定も実現し、市民の命を守る体制整備は着実に前進しています。私は命を守る政策を最優先に掲げ、「平時から備える政治」をこれからも力強く進めてまいります。



国際医療福祉大学成田病院

一步一步、前進しています！

保健所体制の改善を一步一步進めながら、最終的には成田空港への保健所機能の強化を推進し、また、印旛医療圏での救命救急センターの新設指定を実現することで、市民のみならずの命を守る。

雨宮しんごは、命を守る政策を最優先。

今後も「平時から備える政治」を、全力で前に進めてまいります。



雨宮しんご県議会リポートはこちらからご覧いただけます。
(自民党千葉県議会発行)

今年の漢字は「米」だ！と県政報告会で予言しました。令和の米騒動にはじまり、米国トランプ大統領による関税政策とまさに「米」翻弄された上半期でした。
政治の現場にいると、まさか：と思うような出来事に直面することもしばしばですが、それでも地域の声に向き合い、希望を見出し、前に進むのが私の使命です。
まもなく新米の季節到来！炊き立てのごはんのように熱意を持って、粘り強く、皆さんの暮らしを支える政策を一つ一つ、丁寧にカタチにできるよう尽力してまいります。
雨宮しんご

編集後記

一般質問より